

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館報編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館

〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp

「コミュニケーションをうまくとるコツは!!」 高齢者大学 第7講／閉講式

12月10日(火)、高齢者大学
第7講「テレビの舞台裏」
元アナウンサーに学ぶ上手
な話し方」が笠懸公民館
交流ホールで開催され、1
16人が参加しました。

今回の講座は、テレビ朝
日出前講座を利用してのも
ので、講師は同局の藤井暁
氏です。入社2年目に「欽
ちゃんのどこまでやるの」
に出演し、欽ちゃん(秋本
欽一)の無茶ぶりで歌を歌
ったり、出演者とのやりと

りをしたりするようになって
たそうです。

その時のエピソードで欽
ちゃんは、「人をよく見る
人」「同じことを嫌う人」。

また、番組編成では、全ス
タッフを集めて会議を行い、
出演者だけでなく音声やカ
メラのスタッフにも意見を
聞いて番組づくりをしてい
たと話しました。

テレビ番組の舞台裏の話
が終わると本題の「話し方」
の講義が始まりました。

はじめに、「かつげ

つ」は、アナウンサー

としてとても重要なも
ので、口が回らない、

言葉がでないは致命的
であることを話しまし

た。よくなる方法とし
て口の形(開き方)を

意識することを説明し、

口を大きく開ける、す
ぼめるをちよつと意識

するだけがかつげつは
よくなる。また顔の表

情をよくするために顔の筋
肉(表情筋)を鍛えること
さらに、早口ことはも有効
であるとも。

つづいてコミュニケーション
術についてです。初対
面の人と話(やりとり)を
するときの心得として、次
のことを伝えました。

・相手に対して興味を持つ。
そうすると話が広がり、
相手を知ることができ、
目に見えないところが見
えてくる。

・とっかかりを見つける。
観察して立ち振る舞いや
ファクション等、目に見
えるところを見る。

・緊張するが自然体にする。
きれいに、上手に話そう
としない。うまくやろう
とすると自分を追い込んで
しまいます。

・伝えたいことを簡潔に、
簡単にする。一番伝えた
いことは何なのかを具体
的に最初に言う。



▲多くの受講者で埋まる会場

また、大勢の前で話をする
ときは漠然と全員に話すの
ではなく、一人に対して話
をするようにし、友達に語
りかけるようにすると緊張
の度合が減るとも説明しま
した。心に余裕をもつこと
が大切だそうです。

以上のようなことをする
ことでコミュニケーション
力が上がると講演を締めま
した。

講演終了後、閉講式が行
われ、修了証、皆勤賞の授
与がありました。修了証は
小林眞一さん(四区)、皆
勤賞は小島シナさん(二区)
が代表して授与し、本年度
の高齢者大学の全課程を終
了しました。

▲講師の藤井暁氏



市民講座開催!

第3講/第4講

子どもが感染症になったら

笠懸公民館主催みどり市市民講座は、11月30日(土)桐生厚生総合病院小児科部長大木康史医師を講師に招き『子どもの感染症を学ぼう』と題し、第3講を開催しました。

受講者は36人。子育て中のママや幼稚園・保育園の先生など、実際に子どもに



▲ 講師の大木康史医師

接している人の姿もありました。

講師は、子どもの感染症について

①感染症の基本を学ぶ。

②予防接種をどう考えるか。

③トーチ症候群から赤ちゃんを守ろう。

の副題で、3つの観点から講演しました。

感染症については「感染症とは、様々な病原体の感染により生じる病気の総称で、細菌性感染症とウイルス性感染症があります。細菌性感染症には、抗生物質が用いられ、正しく使用すると効果を発揮します。ウイルス性感染症は、ワクチンにより予防が可能です。子どもの命を左右する感染症の大多数は、ワクチンをきちんと接種することで予防できます。

また、生後3か月未満児の発熱は、即入院ですが、各種ワクチン予防接種以後

の発熱は、慌てずしっかりと対処する事が肝要です」と説明しました。

ワクチンの予防接種は「薬である以上ごく少数の有害事象があるのも事実ですが、ワクチンの有効性を疑う余地はありません。利点と欠点を比較すると必要性が理解できます」と見解を示しました。

トーチ (TOUCH:注) に

災害が発生したら

笠懸公民館主催みどり市市民講座は、「みどり市の災害の可能性と危険地域」をテーマに12月5日(木)、第4講を開催しました。

講師を務めた群馬大学大学院理工学府広域首都圏防災研究センター金井昌信教授はテーマの焦点を「災害犠牲者ゼロの地域づくり」に絞り、みどり市の自然災害について啓発しました。

「群馬県には安全神話があります。『固い地盤の上にあるから大丈夫』『上流に

ついては「トーチ症候群は代表的な先天性感染症のことです。これら感染症の胎児感染は重症になりやすく、後遺症が残ることもあり、根本療法が無いことも多く、先進国では、先天性感染症は大きな問題です」と説明しました。

また、トーチの予防法に言及し、妊婦さんが注意すべき11か条について、イン

ダムがあるから水害は起こらない』。本当にそうでしょうか? 防災研究者の立場から、各地の地域防災・自主防災活動を見てみると、その多くが被災後の対策に割かれているように見えます。それでよいのでしょうか?

住民相互の共助は大事ですが、その前に、命が危険にさらされないこと、生き残ることが最も大事です。被災時の自助の部分は、どうなっているのでしょうか?」と、問いかけました。

講師は「命を守るためには、災害を想定し、平時に落ち着いて安全対策や、具体的な避難方法を考え、家

ターネットで『トーチの会』を検索することを勧められました。

(注) T:トキソプラズマ

O:Others

(梅毒トレポネーマ)

B型肝炎ウイルスなど)

R:風疹

C:CMV(サイトメガロウイルス)

H:ヘルペスウイルス

族で備える事が大切。被災時ではアウト。被災前の対策がカギ。風水害では、とにかく早めの避難が大事」と指導しました。

安全神話に惑わされない防災は、命を最優先で考えるよう訴えました。



▲ 講師の金井昌信教授

笠懸町の魅力って!?

現代的課題解決支援講座

群馬県生涯学習センター

主催、現代的課題解決支援講座が11月14日(木)から28日(木)まで3週に渡って「知っていますか?笠懸町の魅力」がメインテーマに笠懸公民館交流ホールを会場にして開催されました。

本講座は、地域課題解決のための知識・手法を講義・ワークショップなどをとおして学習し、そのための人材を育成することを目的としており、笠懸公民館が協



▲ 講師の萩原豪先生と一緒に考える

力する形で実施され、講師は、高崎商科大学の萩原豪准教授が務めました。

◆第1回【11月14日(木)】

32人が参加し「『みんなが住みたくなるまち』はどんなまち?」をテーマに講師の講演とグループワークを行いました。

講師は、「『持続可能な社会』とは何か。地域づくりって何だろう。地域づくりの要素。地域住民が『住みたくなる』とは」など、多彩な内容で講演し、参加者は耳を傾け真剣に聞いていました。そして「目指すべき社会の在り方」について話し合いました。

◆第2回【11月21日(木)】

33人が参加し、「『みんなが住みたくなるまち』になるためには?」をテーマに、テーブルを囲んでのワークショップで、体験型講

座を行いました。

テーブルごとに模造紙を広げ、前回の宿題として撮ってきた笠懸の「残したい風景」の写真を見ながら、感じることを、思うことなど書き込みました。

また、「色(カラー)」に例えたら笠懸は何色になりましたか?」の講師の問いに、参加者は思い思いの色を書き込んでいました。それは「緑」だったり「オレンジ」だったり「灰色」だったりしました。

一人一人の考えが違い、当たり前が当たり前でない社会の中で心が動き行動が生まれます。そして変わりゆく社会の中、地域での生活をどのように考えるか、参加者同士の話し合いの中で、自分たちの故郷を、笠懸町の魅力を、そして温かさをもう一度知り、見つめ直す良い機会となりました。

◆第3回【11月28日(木)】

35人が参加し、「『みんなが住みたくなるまち』になるための道筋」をテーマにワークショップを行いグ

ループ発表になりました。

グループ内で話し合い模造紙に「笠懸町の残したい物、コト」「イメージカラー」と説明」「課題」「解決方法」「明日からできること宣言」をまとめました。

この作業をすることによって大事な物、コトは何かが明確になり、もししたら良いのかが見えてきました。

華麗な舞

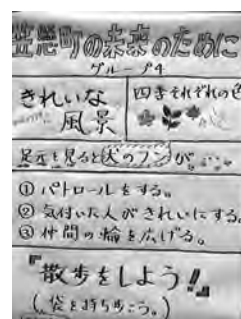
いこいの広場

第123回いこいの広場が12月1日(日)、笠懸公民館ロビーで開催されました。

今回は、「佐昇会」と「舞昇会」の踊りです。日本舞踊特有のしなやかで華麗な踊り、また美しい着物姿、見ていると心が落ち着く感じがします。

「大江戸花ごよみ」「細雪」など全13曲を、それぞれの団体が交互に披露し、踊りが終わるたびに会場から盛大な拍手・歓声がわいていました。また、あちこちで写真を撮る来場者の姿

どの班も真剣に笠懸町のことを考えていて、その「和」が参加されていない人達へも広がる良いと感じました。



▲ 発表内容



▲ 出演者全員で優雅に踊る

みんなできれいに

公民館大掃除

笠懸公民館の年末恒例の大掃除が12月8日(日)、公民館を利用して活動している団体・サークルから約300人が参加して行われました。

この大掃除は、利用者の会との共催で毎年6月と12月の年2回行われており、毎回多くの利用者が参加しています。

交流ホールをはじめ音楽室、和室、料理実習室などふだん利用している部屋や、



▲ 隅々まできれいに

公民館周辺の駐車場や道路にいたるまできれいにしました。

利用者の会では、大掃除を利用者同士の親睦や交流にもつなげようと今回も掃除終了後に、前日より笠懸町婦人会にも協力してもらい調理した豚汁をふるまいました。

ロビーではイベントも開かれ「カフェアンサンブル」の素敵な演奏も聞くことができ、楽しく充実した時間を過ごせたようでした。

参加者からは、「自分の家のつもりで掃除しました」「こんなにたくさんの方が参加して、活気がある公民館を感じました」などの声が聞かれました。

また、利用者の会では、運営のための寄付を呼びかけ、約4万円が集まりました。有効的に活用してほしいですね。



▲ 豚汁を食べながらの談笑

和太鼓グループに寄付

笠懸地域文化祭実行委員会

昨秋の10月19日(土)、20日(日)に開催された、笠懸地域文化祭のイベント部門で模擬店やバザーなどを行った17団体から売上金の一部(3万6500円)が県立渡良瀬特別支援学校高等部和太鼓グループへの寄付として集まり、12月18日(水)、新井

厳雄イベント部長が同校を訪れ、竹内校長、角田生徒

会長に手渡しました。

同グループの太鼓のメンテナンスなどに使ってもらうことを目的に毎年実施しています。

より一層練習に励んで、仲間とともに太鼓の技を高めてほしいですね。

同校がある八区の納涼祭では毎年、和太鼓の演技を披露しています。他のイ



▲ これからも練習に励んでください

ントでもぜひ練習の成果を披露して、私たちを楽しませてください。

令和元年度みどり市公民館大会

多世代交流と地域づくりを考えてみませんか



これからの公民館の役割、そして可能性をいっしょに考えます。

日時 令和2年3月7日(土)午後1時30分~4時30分

会場：多世代交流館(旧福岡西小学校)

内容：事例発表

- ①「トイレ磨きは心磨き」
郷土を美しくする会 会長 松崎 靖 さん
- ②「とまり木のキモチ」
とまり木 メンバー 柏瀬 久美子 さん

講演

「生活の基盤としての公民館—自治を再発明する—」

講師 東京大学大学院教育学研究科

教授 牧野 篤 氏

参加費：無料

笠懸公民館からのお知らせ

下記の教室・講座を開催します。みなさまのご参加をお待ちしています。
参加希望者は、笠懸公民館まで申し込みください。

初心者健康麻雀教室

日時 2月13日・27日、3月12日・26日
※全て木曜日 [全4回]
午後2時～4時
内容 初心者を対象とした健康麻雀教室
定員 16名
申込期間 1月21日～2月8日



脳トレ講座

日時 3月4日(水)
午後1時30分～3時00分
内容 ゲームや体操を通して、脳トレーニングの体験をする
定員 80名
申込期間 2月1日～2月23日



♡子育て悩み解決講座♡

日時 3月8日(日)
午前10時30分～12時00分
内容 子どもが荒れたり、ぐずったりしたときの関わり方を学ぶ
定員 30名
申込期間 2月1日～2月29日



つまみ細工教室

日時 3月5日(木) 午前10時～12時
内容 髪飾りやブローチとして使用できるつまみ細工を作成する
定員 15名
参加費 1000円(材料費)
持ち物 ハンドタオル
申込期間 2月1日～2月25日



カンタン お菓子作り教室

日時 2月29日(土)、3月14日(土)
午前10時～12時30分 [全2回]
内容 身近な食材を使ったお菓子作り
第1回 いちごのシューケーキ他1品
第2回 ミニチョコロール 他1品
定員 15人(中学生以上)
参加費 1,000円(材料費2回分)
持ち物 エプロン・三角巾・タッパー
申込期間 2月1日～2月21日
※キャンセルは2月25日まで



入学準備！ナップサック作り教室

日時 3月15日(日)
午前10時～12時
内容 小学校で使うナップサック(体育着袋)作り
定員 15人
※託児希望の方はご相談ください(1歳6ヶ月以上)。申込状況によりお受けできない場合もあります。
持ち物 ナップサックの材料
申込期間 2月1日～3月6日



詳細はこちら

応募資格 市内在住・在勤・在学の方
申し込み 全教室・講座とも先着順で定員になり次第締め切ります
会場 すべて笠懸公民館
問合せ・申込先 笠懸公民館 TEL 76-2211 FAX 76-2836
メール kouminkan@city.midori.gunma.jp



QRコード

どれに参加しようかなあ



みどモス

地域からのたより

健康麻雀教室

二区



▲ 雀卓を囲んでの楽しいひと時

笠懸町第二区では、毎年開催している「二区公民館で遊ぼう」のゲームの中の一つとして麻雀が行われており、その参加者も多く「恒常的に麻雀ができないか」という要望が寄せられていました。

知らない方も参加できるよう講習も実施しています。経験者ばかりの男性陣はテーブルを囲んで麻雀に興じていました。

初心者には世話人が実際にパイを並べてわかりやすく教えていました。

敬老の祝い

四区

笠懸町第四区「敬老の祝い」が、11月10日(日)四区公民館で行われ、75歳以上のお年寄り68人が参加しました。

佐藤区長のあいさつ、須藤市長等来賓の祝辞後、第一部の催しとして松崎地江子さんから4人による三味線の演奏が行われました。「津軽じょんから合奏曲」「津軽あいや節」などの独奏も入り見事な演奏に聞きほれていました。

昼食休憩をはさんで第二



▲ 余興を楽しみながら会食

部は、ハープ演奏者の岩下佐知子さんによるハープ演奏がしつとりと美しいメロディーを奏で、全員がうっとりとして聞いていて楽しい時間を過ごしました。

おみやげとして全員に色とりどりのシクラメンが配られ今年の敬老行事が終了しました。

「混ぜてやれば」と声をかけていただいたので筆者(初心者)も一緒に体験しました。少しずつルールがわかると、おもしろくなってきました。指を使い、頭も使う、4人でするので、コミュニケーションもあり、運と掛け引きの楽しさを知り、それが脳活性と認知症予防になるとのこと。

笠懸町婦人会クリーン作戦

笠懸町婦人会の皆さんが今年も公民館及び文化ホール(パール)周辺の枯れ葉掃除(クリーン作戦)をしました。

これはボランティア活動の一環として、婦人会が年3回(11月〜1月)独自に行っているものです。毎回20人近い会員が箒や熊手などで午前中、寒い中頑張っています。

道路の側や駐車場の隅に山のようにたまった枯れ葉は大きな袋に詰められゴミ収集場へ。放射線やセシウムが無い時は、会員がみな持ち帰り畑などへの肥料にしたそうです。

終了後は、公民館で用意してくれた温かい麦茶を飲みながら、楽しそうに雑談していました。



▲ 落ち葉を集めてきれいに

募集のお知らせ

館報編集協力員及び市民講座運営委員を募集します。



◆館報編集協力員

任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)
活動内容 かさかけ公民館だよりの企画・編集・取材など

◆市民講座運営委員

任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)
活動内容 市民講座の企画・運営など
【問合せ・申込先】 笠懸公民館

こえの ひろば

投稿

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

かさかけ公民館だより151号にサークル紹介で掲載しました「鼻笛隊ピッピ」の活動日が第1・2火曜日に変更となりました。

第10回みどり市オープン 団体卓球大会

F・T

第10回みどり市オープン団体卓球大会が12月15日(日)にグリーンアリーナで開催されました。

参加は85団体(男子A35団体、男子B14団体、女子A20団体、女子B16団体)でした。

小学生から大人までが、同じリーグで戦い、白熱した試合が会場のあちこちで見られました。また、大会を通して市民の交流も図られていました。

結果は次の通りです。

○男子団体A

優勝 さくまんずB

準優勝 東雲会A

三位 東雲会B

ホブクラブB

○男子団体B

優勝 大間々東中B

○女子団体A

優勝 東雲会A

準優勝 JUTOKU

三位 ジュニアA

大間々東中A

東雲会B

○女子団体B

優勝 東雲会C

準優勝 黒保根連合

三位 笠懸南中E

らむらむ

今月の一首(8) 風鈴

大君は 神にしませば

赤駒の 腹這ふ田居を

都と成しつ

(19・四二六〇大伴御行)

《訳》大君(天武天皇)は神であられるので、赤駒が腹這っていた沼田でも都となさった。

《解説》「壬申の年の乱(壬申の乱)の平定以後の歌」

と題される歌で、天平勝宝四(七五二)年二月二日に大伴家持が聞いて書きとめた歌です。この歌に詠まれる「都」は、明日香浄御原宮(現在の奈良県高市郡明日香村)をさします。

沼田に都を造営したことを「大君は 神にしませば」といい、天皇の超越的な力がたたえられています。ここには天皇の現人神思想が

詠まれているのです。

古代史上最大の内乱「壬申の乱」(二月二十二日参照)に勝利した天武天皇は、歌に神と詠まれました。それから八十年、家持はその時代が懐かしかったのでしょう。復古主義的な傾向のあった人でした。

『万葉集一日一首』

花井しおり編

(致知出版社刊)より

四季の会 十二月句会



水嵩の少なくなりし冬の川
妻も娘も海外旅行除夜の鐘
源泉の掃除も終へし注連飾る
仕舞湯や遠くにきこゆ除夜の鐘
北風に洗濯物を取られをり
娘の縫ひしちゃんちゃんこ着る夜の廁
忙なく年末ジャンボ買ひにけり
春着縫ふ針の通らぬ夜の仕立
深酒になりそな夜よ霽降る
虎落笛ときどき目醒む海の宿
晦日そば田舎の姉の手打かな
思ひもかけぬ貰ふポーナス息子より
掛流しの温泉めざし年忘
大晦日孫子全員そろひをり
煤拂をはりし姉の帰宅かな
極月や記念のワイン供へをり
松飾り客間にも生け茶を啜る
飲み会の誘ひもなきしクリスマス
仕舞湯に浸かりし独り除夜の鐘
湯冷めせし孫を寝かせる至福かな
浮鳥の白鷺なくや沼瀬るる
ちゃんちゃんこ犬にも着せる夜の散歩
すれ違ふマスク美人や接骨医
冬の水くみゆく路や七曲り
過疎の村のろりを囲む四世代
緩と柚子湯につかる旅の宿
縁側の懐メロ聴きつ日向ぼこ
病床の夫のベッドや除夜の鐘
ゆたんぼを猫の時にそつと入れ
あちこちに懐炉を入れし朝散歩
舞台跳ね震の中に妻の待つ
山眠る松の緑や三方五湖
越冬の蝶の蚕蛹ここかしこ

久保 初風
山本 草秋
今井 稔
糸井 初音
徳田 夕子
須田 仙寿
小此木 和音
横倉 雅
童 鳥海
金井 光順
佐藤 小春
東宮 春水
川岸 星漢
津久井 友禅
越塚 勝鬼
多田 冬薔薇
小林 華笑
韓 百日紅
吉田 和義
楮沢 春蘭
富田 和
村田 紅蘭
遠藤 勝龍
新羅 光海
金井 漢江
石原 青蓮
富士山 鬼翔
村田 小町
糸井 梅光
真下 山月
冠 二郎
宇野 勘大
金 光月

投稿

テクテクお城歩き (10)

「会津若松城」 歩遊人

日本100名城のひとつに会津若松城（鶴ヶ城）があります。白虎隊の悲劇は歴史に残るものとして知られていますね。

若松城は室町時代からあった蘆名氏の黒川城を、蒲生氏郷が1592年から改修し、名称を黒川から若松に改めたといわれています。

幕末の戊辰戦争では新政府軍との戦いで1か月の籠城に耐えましたが落城。戦



▲ 会津若松城（鶴ヶ城）の天守閣

笠懸短歌サークル十二月例会より



二十八年の歌ひ納めの「第九」なりを身を熱くして拍手を受くる
歳取れば髪白くなることさえも孫ら揃いて「なぜ、なぜ？」と問う
雨もやうに野良へ立つのをためらひて炬燵に半日冬至も近し
久に訪ふ桐生の町の裏通りコロツケ買ひし店はまだある
刈り終へし稲田に群れて雀らは庭に置く飯を振り向きもせず
松の枝を剪らむと脚立を上りきて屋根越しに見る赤城冬色
新品を買ふより高き修理代もつたないの心危ふし（プリンター）

上村 征子
上山 利夫
橋内 文夫
久保田茂子
近藤ふさ子
関口 定夫
平山 勇

コラム豆電球



「じんないずあまのの語源」

かつてアメリカの言語学者は「OK」という言葉は、アメリカが生んだものとも成功した言葉である」と言ったが、その語源となると諸説が多いようだ。アメリカ人は、だれでもお気に入りの説をもっていることさえいわれるほどだ。代表的なものを紹介しておこう。

- ① アメリカの7代大統領アンドリュー・ジャクソンがまだ裁判所の判事だったころ、All correct (よるしい)とサインするところを、Oil correctと間違えてサインしたからという説。
- ② 北米インディアンの「イエス」を意味するOkéが元になっているという説。
- ③ Order Recordedの誤読という説。
- ④ アメリカの8代大統領ビュレンを支持したグループ「Old Kinderhook Club」という団体があり、これが元になったというもの。

「人生は、自転車操業である」という言葉を何かの本で読んだ気がする。自転車は、漕がないと前に進めず倒れてしまふ。整備された平坦な道、デコボコな砂利道、草の生い茂る道など様々な道があり、雨や風の日もある。また、予測できないこともある。

人の歩む道も一年一年の積み重ねで、去年よりも今年、今年より来年と向上心を願う。

でも、年を重ねることに今年も一年無事に終わったことに安心している。今年も、息子達に誘われてちょっと遠出の初詣に出かけました。

あまりたくさんの願い事をする、神様が迷ってしまうからしない方がいいと皆で笑ってしまいました。

歳だからを理由にしないで色々な事に挑戦してみようと思えます。

あまり欲張らずに。(6)

ちよつと一息

